

平成 27 年度 第 1 回環境マネジメントシステム改善委員会議事録

日 時 : 平成 27 年 5 月 29 日(金) 13:15~14:00
場 所 : 本部棟 5 階 大会議室
出席者 : 松浦 晃幸委員長, 巢山 弘介, 石川 健, 塚田 真也, 中務 明,
田中 秀和, 西村 浩二, 山本 晃, 門城 祐司, 堀池 幸浩,
山崎 幸司 (為石 勝美委員代理), 小村 陽悦, 周藤 義男,
山田 有蘭 (齊藤 夢美委員, 鳥越 祐充委員代理),
力石 利久 (湊 直樹委員代理), 安達 知弘, 小泉 祥子
陪 席 : 川上 直美, 金本 瞳, 今井 恭子
事 務 : 川本 和弘, 百合澤 彰, 青木 孝恵, 小澤 崇良, 上野 和将,
木村千寿子

確認事項 :

- 松江キャンパス環境マネジメントシステム改善委員会規則
- 松江キャンパス環境マネジメントシステム改善委員会点検・評価専門委員会要項
- 松江キャンパス環境マネジメントシステム改善委員会委員名簿 (平成 27 年度)

委員会開催に先立ち, 委員長より委員会規則について, 平成 27 年 4 月 1 日の事務組織変更に伴い, 第 5 条第 1 項第 5 号の 2 として, 委員の構成に「企画・地域連携推進部長」が追加となったこと, また, 規則第 7 条に定める専門委員会として設置している点検・評価専門委員会の要項を示した。

併せて, 平成 27 年 4 月 1 日から新たに委員に就任した者について, 名簿順に委員長より紹介があった。

議 題 :

1. 平成 26 年度活動にかかる報告について

委員長より, 本委員会規則第 9 条に基づき各部局等から平成 26 年度に取組んだ活動に対する報告書の提出が完了したことが報告された。

前回委員会で確定したスケジュールでは, この提出は 4 月 15 日, 評価結果通知を 5 月末としていたが, 複数の部局からの提出が遅れ最終的に 5 月 25 日にすべての報告書が揃ったことから, 以降のスケジュールの変更案を提示し説明があった。

また, 評価の作業について, 委員会規則第 7 条に基づき設置されている「点検・評価専門委員会」において評価原案を策定することとなっており, 専門委員会メンバーについて提案があった。

審議の結果, スケジュールの変更, 専門委員会メンバーについて異議なく了承された。

なお, 専門委員会で策定された評価原案を, 7 月初旬を目処に本委員会で確定後, 各部局等へ通知をするため, 本委員会での確定に係る審議をメール会議で行なうことを予定していると説明があった。

2. 平成 27 年度島根大学における節電の取組実行計画 (夏季) について

委員長より, 政府の示す「夏季の電力需給対策について」を踏まえ, 本年度夏季の省エネルギー対策についての審議と, 本件に関連する内容である前年度冬季の実績につい

ての報告をする旨、述べられた後、詳細について周藤エネルギー管理員より説明があった。

内容は、政府からの節電要請として中国電力管内は7月1日から9月30日の間、2010年度最大電力に対し3.7%の定着節電が見込まれていること、並びに、昨年度の本学夏季節電目標として同期比6%削減に対し16%の節電ができたが、これは冷夏であったことの要因が大きかったことが説明され、最終的に昨年度の目標値を参考にし、また、空調機についても古い物から随時更新していること、本年度全国各電力会社管内の定着節電の平均が6.8%であること等を踏まえて、本学での節電目標を7%とし、この目標が達成された場合の電気料金面からの削減予想値を提示した。

本件については、節電についての周知用ポスターを作成したので活用いただきたいと説明があった。

また、昨年度冬季の電力使用量の実績については、削減目標5%（対2010年度）に対し、4.6%削減となったことからほぼ達成できたと報告された。

審議の結果、今夏の節電の取組実行計画案等について了承された。

委員長より、本件について取組実行計画並びにポスターをホームページへ掲載し、部局長等へはメールで通知を行い、あわせて6月開催の役員会及び7月開催教育研究評議会でも協力依頼をすると説明があった。

3. その他

なし

報告事項：

1. 平成27年度各部局等の活動計画について

委員長より、本年度当初の各部局等のEMS実施内容（計画）が提出されたので、一覧にまとめて提示があり、他の部局等の取組みも参考にしていきたいと説明があった。

2. 「環境報告書2015」の作成について

委員長より、確定した環境報告書の作成要項について、昨年度からの変更点である、ダイジェスト版の発行部数を8,500部から5,500部へ削減した理由として、この2年間全保護者へ送付していたが、成績等の送付時期とはずれていること、他の広報等は配布していないこと、さらに冊子はwebでの閲覧が可能でありそちらを活用いただきたいことから、発送費をかけず学部毎に開催される後援会保護者会等の際に出席者へ配布する程度を見込み、印刷部数を削減したと説明があった。

また、議題1で提示した昨年度の活動報告を参考に、報告書の目次を作成し、事務局案としてトピックスを提示・確認をした。

なお、報告書本冊に「第三者からの評価」を掲載するが、本年度は学外委員のうち、安達松江市環境保全部次長に依頼することとなった。

3. 学生EMS委員会委員の委嘱について

委員長より、資料のとおり本年度の学生EMS委員会委員は、活動の意思表明をした22名の学生に委嘱することが述べられた。委嘱状の交付式については別途日程調整を行

なうこと、学生の所属学部により偏りはあるが、学生委員の活動を通して全学での取り組みとしていただきたいと依頼があった。

4. 学生 EMS 委員会の活動計画について

委員長より、本年度学生 EMS 委員会の活動計画について、昨年度も行なった「緑のカーテン」及び本年度から新たな活動として「腐葉土の活用」の計画書が提出されたので、詳細について学生委員の山田さんより説明いただくと述べられた。

山田さんより、資料に基づき緑のカーテンについて、目的、設置時期、設置場所等と今年から新たに緑のカーテンについて学生・教職員に対し聞き取りアンケート調査を行う予定であること、また、腐葉土の活用については、提出した活動計画から変更があり、本年度は学内で飼育している羊の堆肥を混合し、半年間発酵させて培養土を作り、配付は来年度から行う予定であると報告があった。

副委員長より、せっかく複数の学部の学生が関わった取組みなので、腐葉土を次年度以降配付する際に、腐葉土の成分・性質的なものを明記する等、大学らしい活動としていただきたいと要望があった。

5. EMS ニュースの発行について

委員長より、今月は EMS 活動の紹介等のために 2 ヶ月ごとに学生 EMS 委員会と事務局が共同で作成・発行する EMS ニュースの発行月であることが説明され、ニュースの内容について報告があった。

内容は、報告事項 4 で学生 EMS 委員から報告があった「緑のカーテン」「腐葉土の活用」に関する記事と、例年環境月間に合わせて 6 月に実施しているキャンパス一斉清掃を 6 月 9 日（予備日 11 日）に実施すること及び 6 月 8 日から 19 日に学生 EMS 委員会のパネル展示と環境報告書の表紙を決めるビビコンの投票を、学生会館 1 階ホールで行なう告知を掲載していると説明があった。

6. その他

・洋式トイレの保温便座について

生物資源科学部中務委員より、学部 EMS 委員会で話題になったが、夏季省エネルギー対策として、洋式トイレの保温便座の電源を切った方が良いのか、その場合はどのように対処したら良いか質問があった。

施設企画課長より、電源を落とした方が節電効果はあるが、タイプによりその電源等の場所が分かりにくい物もあるため、別途、施設整備課設備担当で確認し回答することとなった。